

ねっとわあく

189

MARCH

長野県生活協同組合連合会

ねっとわあく 189 2007年3月1日 発行責任者：米原 俊夫



エームサービス㈱の施設の説明を受ける食堂・売店部会の参加者

食堂・売店部会が他企業の先進施設等を視察しました。

CONTENTS

トップが語るわが生協 「魅力ある無店舗事業の展開へ：コープながの 清水邦明理事長」..... 2	
機関関係会議報告	その他報告
第8回常任理事会..... 4	宮下一郎衆議院議員と懇談..... 6
第5回定例理事会..... 4	国際協力田米発送式..... 7
賀詞交歓会..... 4	消団連関連報告
トップ幹部研修会..... 5	県消団連第7回幹事会..... 7
災害時ボランティア活動..... 5	消費生活条例制定促進ネットワーク会議... 7
部会関係活動報告	第56回通常総会公告..... 8
大学部会・新年学習交流会..... 5	Information..... 8
食堂・売店部会視察研修..... 6	

「魅力ある無店舗事業の展開へ」

コープながの 清水邦明理事長

2007年度には新店を出店し、事業連帯の本格的なスタートを始めるコープながのの清水邦明理事長に、これからの生協づくり、無店舗事業の展望などについてお話をいただきました。

まず現状のコープながのの課題について お聞かせください。

現在、コープながのの県内の世帯組織率は27%強です。この組織率では、本当の意味でより多くの県民に支持されている生協になっているとは言えません。当面、全県の過半数の県民が参加している状態に到達したいというのが目標です。

長野県は、豊かな自然に恵まれた全国有数の長寿県ですが、少子高齢化が他県よりだいぶ進んでいます。年金生活者も多く、所得格差が顕著になる中で社会保障費の負担増や燃料費等の高値安定などの問題が生活に大きく影響しています。このような、県民一人ひとりの暮らしを取り巻く状況の変化に対し、生協がどう対応していくのかが問われています。

一つには、扱う商品の課題があります。商品に「こだわり」という付加価値をつけて高く売ることは比較的簡単ですが、「おいしく」で「確かな品質」、しかも「安い」というものを提供し続けることはと



コープながの
清水邦明理事長

略歴：1948年生まれ。1974年戸山ハイツ生協入協、1980年長野生協専務理事、1992年コープながの常務理事、1996年同・専務理事、2006年同・理事長就任。

ても難しいことです。ですから、この課題に正面から取り組み、生協の役割として組合員にとって日常の暮らしの中で、あって良かったと心から思える商品の開発にもっとしっかり踏み込んでいく必要があります。

もう一つは業態改革の課題で、無店舗事業が暮らしの変化に対応し利用しやすいシステムに改革されているのかということです。例えば、長野県では高齢化等に伴って「個別配達（以下：個配）」のニーズは潜在的に高いと思われますが、コープながのの個配の割合は共同購入全体の28%前後と、まだまだ低い状況です。このように無店舗事業が伸びる余地があるにもかかわらず、私たちの業態の改善・改革は必ずしも充分とは言えません。また、インターネット事業が大きく遅れていることも深刻な問題です。インターネットでは、一人ひとりの生活スタイルに応じてアクセスでき、様々なジャンルの商品がリアルタイムに手に入る仕組みが日々進歩しています。注文すれば、翌日にはおいしく新鮮なものが産地から直送で届き、書籍や旅行などもインターネットを通じて購入する時代です。情報が豊かで、便利で、買うことが楽しく、ほしい物をほしい時に届けてくれるという、実は生協の無店舗事業に欠落している部分をインターネットが実現しているわけです。こ



上田配送センター

トップが語るわが生協

のことに危機感を持って、全国の生協の力でインターネット事業の再構築を急がないと手遅れになると思います。

■ コープネット事業連合へ加入された経過と連帯の計画についてお話しください。

コープネット事業連合（関東圏内1都6県の生協事業連合：以下コープネット）への加入は、組合員論議を経て2005年6月の総代会で決定しました。商品力の強化と業態の改善・改革について、組合員の立場で考え、実現しなければならないわけですが、それをコープながの単独の力でできるかと言うと無理があります。コープネットへの加入は、生協の力を結集することでこれらを実現したいという思いから決断しました。生協全体で暮らしを守る力を継続的に強化し、長野県において県民の暮らしにさらに貢献する生協づくりをしっかりとすすめていく決意です。この春までに共同購入の商品部機能を統一し、2008年度までに情報システムの統一をはじめとした共同購入事業の統一化と店舗事業の運営統一を目指しています。また、共同購入の物流統一は中長期



生活協同組合コープながの （本部・長野市篠ノ井）

1992年から93年にかけて県内5つの生協が合併して発足。共同購入など無店舗事業を中心に、総事業高355億円（2006年度予測）、組合員21万人を組織し、県全域で事業と様々な活動を進めている。

のスパンで検討していきます。

■ 当面の共同購入事業の改善と店舗事業についてお聞かせください。

魅力ある共同購入ということで、利用すればそれだけメリットのあるポイント制度や、連続利用キャンペーンなどのシステム整備が上げられます。

すでに商品案内の名称を「ハピ・デリ！」に変更し、注文書や商品案内の個人別対応の準備を進めています。その他、商品案内選択制度の導入、注文締切時間の延長、インターネットでCDや書籍を注文できるサイトの開設、リーディングサービスの共同化も推進しています。また、2008年度に向けて共同購入の制度整備を行い、より公平で納得できる制度として「1人班」「2人班」の手数料負担、個配手数料の減額と利用高に応じた減免制度、現金回収の廃止等について組合員合意をすすめています。

店舗事業では、損益改善を最重点に取り組みますが、初めての取り組みとして「あづみ野豊科ショッピングセンター」を開発し、キーテナントとして600坪のSM店をこの4月に出店します。この出店を機に、コープネットの協力を得ながら店舗事業の巻き返しを図っていきます。

■ 今後の展望についてお話しください。

この間、コープネットと7生協統一の理念・ビジョンづくりをすすめてきました。2007年度からの中期三カ年計画では、これを具体化し、地域の諸団体や人々と手を取り合って「協同のある街づくり」や長野県の課題である高齢化、過疎化、そして豊かな自然を守る環境保全などへの対応にも力を入れています。これらは多くの組合員の願いでもあります。コープながのが地域に存在することで県民の暮らしが少しでも豊かになること、そのことで社会的な責任と役割を発揮したいと考えています。

第8回常任理事会で県労福協と意見交換をしました

2月8日(木)松本市中央公民館(松本市)において、第8回常任理事会を開催し、あわせて、県労福協と「生活あんしんネットワーク事業」について意見交換しました。

常任理事会では、米原俊夫会長、宮澤芳正副会長・清水邦明専務理事の常任役員3名が、この間に開催した理事会などの機関会議や、賀詞交歓会、トップ幹部研修会などの結果報告、第2回長野県生協災害対策検討委員会や消費生活条例促進ネットワーク第1回会議の報告等について確認しました。

つづいて、県労福協の青木正照専務理事と竹元光邦事務局長に「労福協生活あんしんネットワーク事業」についての説明をいただいた後、昼食をとりながら懇談し、できるところから協力し合うことを確認しました。午後から常任理事会を再開し、県生協連06年度まとめ・07年度方針の第1次案について協議しました。



常任理事会と県労福協が意見交換を行いました

第5回定例理事会を開催しました

2月23日(金)、第5回定例理事会をメルパルクNAGANO(長野市)において開催しました。理事10名と監事2名が出席し、第4回定例理事会以降の機関会議や部会活動などの報告について確認し、2006年度活動のまとめ案や2007年度の方針案、総会公告、2007年度の会費額決定、会議日程などの協議事項を話し合い、論議を深めました。



初めての賀詞交歓会を開催しました

1月24日(水)、県生協連で初めての賀詞交歓会をホテルサンルート長野(長野市)において開催しました。来賓の佐野功武県議会副議長、長野県労福協の近藤光理事長(連合長野会長)、篠原孝衆議院議員、後藤茂之衆議院議員からご挨拶を頂戴しました。

また、県議会から8名の議員が出席された他、衆参の国会議員事務所、農林水産省長野農政事務所、長野県消団連、JA長野中央会、JA全農長野、県社会福祉協議会など多数のご来賓が参加され、関係団体や会員生協の役職員を合わせた73名が和やかに交流を深め、大変有意義な賀詞交歓会となりました。



様々な示唆を受けることが出来たトップ幹部研修会

1月24日(水)、ホテルサンルート長野(長野市)において2006年度トップ幹部研修会を開催し、会員生協の役職員や長野県虹の会から37名が参加しました。長野経済研究所の笠原勉上席研究員が『2007年度長野県経済の見通しと県内元気企業の紹介』と題して講演され、信州大学経営大学院 茂木信太郎教授が『“吉野家”に見る危機管理とサービス品質』～ 生協活動への提言として～ と題して講演されました。



災害対策検討委員会で、災害時のボランティア活動について学びました

2月1日(木)、第2回長野県生協災害対策検討委員会をホテル信濃路(長野市)において開催し、委員長の木下セイコーエプソン生協管理部長以下、コープながの、生活クラブ生協長野、長野医療生協、全労済長野県本部の各災害対策担当者と事務局をあわせた8名が参加しました。

県社会福祉協議会・ボランティア地域活動センターの長峰夏樹氏から「平成18年度7月豪雨・長野県災害ボランティアセンター活動報告」を受けて、ボランティア活動に関する具体的な情報を共有化することができ有意義な交流となりました。



部会関係活動報告

大学部会が新年学習交流会を開催し6生協が参加しました

1月13日(土)、大学部会新年学習交流会を信州大学工学部キャンパスにおいて開催し、県生協連加盟の6つの大学生協(信州大学・県短期大学・長野大学・県看護大学・松本大学・清泉女学院)の役職員計129名が参加しました。

第一部の学習会では、信州大学繊維学部教授中本信忠氏が「ビールが守ったおいしい水」と題して講演を行い、緩速ろ過法の良さ・美味しさ・安さなどについて詳しくお話いただきました。続いて、日本生協連大学生協東京事業連合食堂部長坂井宏次氏が「大学生協が進める食堂事業」と題して講演を行い、職員の意識改革の重要性、明るく楽しい職場への問題意識をもって働くことについて話されました。第二部では、各生協よりそれぞれ挨拶と取り組みの紹介を行った後、レクリエーションなどで交流を深めました。



食堂・売店部会が他企業の食堂・売店等を視察しました

2月20日(火)~21日(水)にかけて食堂・売店部会が視察研修を行い、宮澤芳正部会長をはじめセイコーエプソン生協と信州大学生協の職員及び事務局の14名が参加しました。

今回の研修は、売れる店(食堂・売店)づくりを、サービス面などソフトの部分を中心に視察し今後に生かそうというものでした。

1日目は東京都八王子市にあるアジレントテクノロジー社の中のエームサービス(株)の食堂と売店を視察し、参加者からは、「食堂の素材の切り方や盛り付けの工夫などから、全体を運用するソフトの良さ等を実感した」「自分たちの店の良い部分も再確認できた」等の感想が出されました。2日目は、茨城県石岡市のヨークベニマルを核テナントとする「ウェルサイト石岡ショッピングセンター」を視察し、工夫された陳列展示や接客態度などを見学しました。



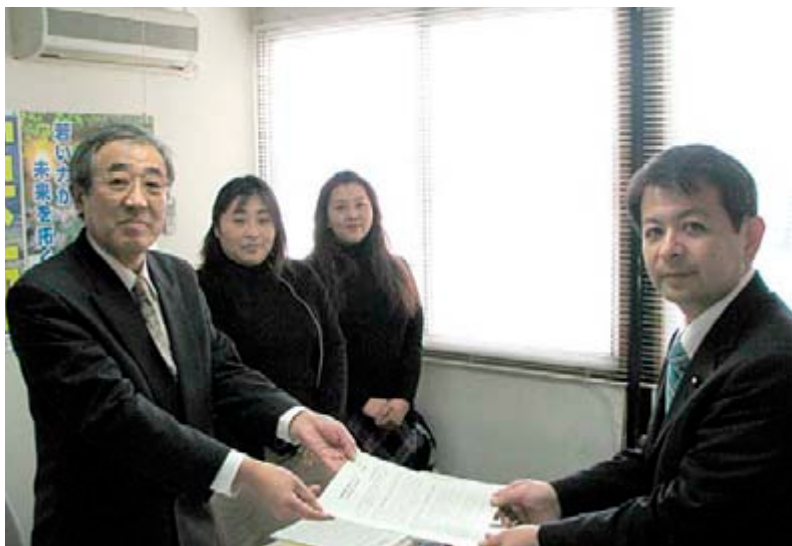
展示方法を視察する参加者

その他報告

宮下一郎衆議院議員と懇談を行いました

1月27日(土)に、伊那市の宮下一郎事務所を訪問し、宮下一郎議員と生協法の改正問題での懇談を行いました。今回の懇談には、県生協連から米原会長理事、コープながのから伊藤理事・高山理事、県連の小松事務局長の4名が参加しました。

予定の合間を縫って駆けつけていただいた宮下議員からは、各生協事業の現状や進め方、今後の課題など多岐にわたって熱心な質問をいただき、こちら側の説明にもしっかりと耳を傾けていただきました。最後に、今国会での改正法案成立に向けてのご協力を重ねてお願いすることができました。



宮下一郎議員に日本生協連の「生協制度改正の取りまとめへの見解」を渡す米原会長

飢餓に苦しむアフリカ・マリ共和国へ 国際協力田米を発送しました

1月29日(月) 県生協連が加盟する食と農と環境を育むネットワークは、J A長野県と共にJ A長野県ビルにおいて「国際協力田米発送式」を開催し、関係者200人が参加しました。国際協力田事業は、市民や子どもたちが田植えや稲刈りに参加することで自然や農業の大切さへの理解を深め、収穫した米を飢えに苦しむ世界の人々に贈るという主旨で継続されています。

9年目となる2006年度は、17J Aの田で7トン超の米を収穫し、アフリカ・マリ共和国へ贈りました。田植えに協力した小学生の代表が田植えの体験や世界の飢餓を学んだ感想など、国際協力田に関する作文を読み上げました。この取り組みでは、コープながのあづみエリア会の22家族43人が、J Aあづみの国際協力田で田植えに参加しています。



マリ共和国へ贈る米袋と参加者

消団連関係報告

県消団連が第7回幹事会を開催しました

県消団連は1月18日(木) 長野県婦人会館において第7回幹事会を開催しました。第6回幹事会以降の会議や諸活動の報告と、行政・諸団体からの情報提供を確認したほか、長野県消費生活条例の制定を求める運動の取り組み、消費者大会の開催等について協議しました。

第1回消費生活条例 促進ネットワーク会議が開催されました

1月31日(水) 県婦人会館において消費生活条例促進ネットワーク会議の第1回会議が開催されました。信州大学経営大学院の樋口一清教授、山崎泰正弁護士、板谷健太郎弁護士、和田洋子司法書士をはじめ、コープながのの役・職員や県消団連の役員・事務局など13名が参加して、長野県の消費生活条例の促進を目的としたネットワークの取り組みについて話し合いました。



会議の様子

公 告

第56回長野県生協連通常総会開催のご案内

- 1、総会日時 2007年5月9日(水) 午後2時より4時まで
- 2、開催場所 長野市 メルパルクながの(長野郵便貯金会館) 飛翔の間
長野市鶴賀高畑752 8番地 ☎026 225 7800(代)
- 3、議 案 第1号議案 2006年度活動のまとめ承認の件
第2号議案 2006年度決算及び剰余金処分(案)承認の件 監査報告
第3号議案 2007年度活動方針(案)決定の件
第4号議案 2007年度収支予算(案)決定の件
第5号議案 借入金最高限度額決定の件

以上、総会の開催を公告いたします。

2007年3月1日

長野県生活協同組合連合会
会長理事 米原俊夫

Information

- | | |
|---------------------------------|--------------------------------|
| 3月2日(金) 介護福祉部会 | 4月6日(金) 常任理事会 定例理事会 |
| 3月6日(火) 第3回長野県生協災害対策検討委員会 | 4月10日(火) 県労協なんでも相談ほっとダイヤル検討委員会 |
| 3月10日(土) 県労協くらしなんでも相談ほっとダイヤル | 4月13日(金) 中央地連都県連責任者会議 |
| 3月11日(日) 第3回福祉・助け合いフォーラム | 4月16日(月) 2006年度期末監査 |
| 3月15日(木) 第9回常任理事会 | 4月23日(月) 定例理事会 |
| 3月15日(木)~16日(金) 中央地連第3回都県連事務局会議 | 4月24日(火) 労協協理事会 |
| 3月23日(金) 定例理事会 食堂売店部会 | 4月27日(金) 長野県虹の会世話人会 |
| 4月4日(水) 労協協ニュース編集委員会 | 5月9日(水) 第56回通常総会 |

会報 **ねっとわあく** 189

発行：長野県生活協同組合連合会 〒380 0921 長野市栗田950 6 メゾン栗田102

TEL 026 224 3161 FAX 026 224 3162

ホームページ <http://nagano-seikyoren.org/index.php>

